

## 第5江東区都市計画マスタープラン 2022 推進会議【会議録】

開催日時	令和5年5月15日(月)午後2時00分		
開催場所	江東区文化センター3階第1, 2研修室		
出席者 (敬称略・順不同)	<b>【委員】</b> <委員長> 志村 秀明 <委員> 市古 太郎、川内 美彦、森本 章倫、柳井 重人 <b>【区職員】</b> 都市整備部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、 沿線まちづくり担当課長、都市交通輸送計画担当課長		
<b>【議題】</b>		<b>【所管】</b>	
(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり協議会設立について		沿線まちづくり担当	
<b>【議事概要】</b>			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料2	<p>協議会員構成の企業枠は各町会推薦の地元企業とのことだが、まちづくりの検討がステップアップした段階でデベロッパー等の意見を聞くことも必要と考える。</p> <p>こども達の自由な発想を取り入れることも大切であり、こども達の意見にプロのチェックを加え、自由な発想の中でも実現性の高いまちづくりの検討を進めていただきたい。</p>	<p>ご意見を参考にまちづくりの進め方を検討する。</p>
2	資料2	<p>沿線まちづくり構想における(仮称)枝川駅周辺の目指す姿のパスには、水辺のアクティビティが描かれており、地域が望む姿と認識している。</p> <p>今後、(仮称)枝川駅周辺地区の対象範囲を検討する際には、水辺にアクセスするための複数のポイントも含め、少なくとも枝川二・三丁目の三角形は包括する必要があると考えているが、地域の意向を共有しながら対象範囲の境界線を設定していただきたい。</p>	<p>対象範囲は協議会の中で決定する。ご意見のとおり、地域の意見からも水辺の活用は重要な視点と考えているので、枝川一丁目を含めた全体+運河を軸に、運河を越えた先をどこまで含めるかを協議会の中で検討していきたいと考えている。</p> <p>また、水辺の活用という点では、隣接する豊洲運河ルネサンスとの連携の可能性も考えられる。</p>
3	資料2	<p>潮見運動公園が活かしきれていないと感じているため、水辺のアクセスポイントとしての活用を考えると良いと思う。</p> <p>対象範囲に潮見運動公園が含まれる場合は、三ツ目通りの改善についても協議会の中で話し合うと良いと思う。</p>	<p>ご意見を参考に協議会の中で対象範囲を検討する。</p>

4	資料2	<p>(仮称)枝川駅周辺地区の対象範囲の設定は、ひとつのコミュニティである小学校区を意識し、枝川以外の部分との関係性を考慮して決めるべきである。</p>	<p>枝川小学校の学区は、枝川二三丁目や潮見、さらに枝川一丁目及び塩浜の一部となっている。塩浜及び潮見の小学生はいずれも橋を渡って登校してくることになるので、対象範囲を設定するうえで、橋や運河も大切な要素と考えている。</p>
---	-----	--	---